

[008]障害史研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7420027>

出版情報：障害史研究. 8, 2026-03-30. Society for Disability History Studies (Shōgaishi Kenkyūkai)

バージョン：

権利関係：



障害史研究

第8号

2026年3月

目次

《研究ノート》

- なぜ『盲聾記』の記主は「聾盲」を「盲聾」に訂正したのか
——「聾盲」「盲聾」の生成・拘束化・慣習化にみる
実践的存在様態多元性—— 末森 明夫 1
- 貝原益軒の〈障害〉認識
—— 養生論との関連から —— 高野 信治 13
- 近代日本社会医学研究史概観（1） 瀧澤 利行 29
- 監獄のなかの精神障害者
—— 精神病患者監護法前後の責任配分と刑余者の待機施設化 —— 赤司 友徳 53

《書評》

- 書評『谷三山：師の師たる人』（奈良県立大学ユーラシア研究センター編 2022）
—— 谷三山研究の地平にみる障害史研究の展開 —— 末森 明夫 77

《研究会記録》

- 大阪・医療法人爽神堂七山病院巡検報告 山本 聡美 91
- 第19回科学研究会記録
精神障害者と暮らしてきた町・岩倉 中村 治 99
- 第19回研究会及び資料閲覧、岩倉巡見会総括 瀧澤 利行 107

《活動報告》

- 科研メンバー、活動記録、研究短報 111

《編集方針》

- 『障害史研究』の編集方針 123

障害史研究会